



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月4日

上場会社名 株式会社よみうりランド 上場取引所 東
 コード番号 9671 URL <http://www.yomiuriland.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村 武志
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理部担当 (氏名) 関野 治彦 (TEL) 044-966-1134
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,077	△2.1	574	△30.5	867	△18.6	565	△16.8
26年3月期第1四半期	4,163	1.1	827	△5.9	1,065	7.5	679	16.3

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 828百万円(△60.4%) 26年3月期第1四半期 2,090百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	7.28	—
26年3月期第1四半期	8.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	52,099	19,315	37.1
26年3月期	51,482	18,865	36.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 19,315百万円 26年3月期 18,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,752	△1.7	1,297	△31.0	1,699	△23.9	1,037	△24.6	13.33
通期	16,557	△1.3	1,650	△32.8	2,359	△26.3	1,403	△27.7	18.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	83,522,024株	26年3月期	83,522,024株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	6,217,084株	26年3月期	5,732,924株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	77,565,680株	26年3月期1Q	77,796,688株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により弱い動きもみられましたが、緩やかな回復基調が続いております。当社グループの関連する業界に影響を及ぼす個人消費も弱めではありますが、一部に持ち直しの動きがみられます。

このような状況の下、当社は独自の企画により他社施設との差別化を図ってまいりました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年同四半期比1日増の16日実施されました。6月の重賞競走「関東オークス」の開催時には、サッカー日本代表応援イベントを実施し場内を盛り上げました。また、JRAの場外発売「ウインズ川崎」は、前年同様26日開催され、前年を上回る入場者で賑わいをみせました。なお、商業施設建設工事に伴う3号スタンドの解体工事を5月から開始いたしております。船橋競馬は、前年同様15日開催されました。5月にビッグレース「かしわ記念」が開催され、同日に主催した「おうまフェス2014～親子であそぼ。～」では、多くのイベントを開催し好評を博しました。なお、前年10月にスタートしたJRAの場外発売「J-PLACE船橋」は13日開催され、好調に推移いたしております。船橋オートレースは、前年同四半期比1日減となる17日開催されました。5月に恒例のGI「黒潮杯」、6月には5年ぶりにGI「プレミアムカップ」が開催されました。競輪場外車券売場「サテライト船橋」は、前年同四半期比2日減の89日実施されました。なお、通期の開催日数につきましては、川崎競馬は前年と同数、船橋競馬は2日増、船橋オートレースは7日減となる予定です。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、外部営業によりコンペを獲得したものの、6月の雨天によるキャンセルの影響などにより、入場者は減少いたしました。なお、50周年記念事業として実施しておりますベントグリーン改修工事は、芝の張替え作業が完了し、10月からの使用開始に向けて芝の養生を開始しております。よみうりゴルフ倶楽部は、多様な自主コンペの開催などにより、6月の雨天によるキャンセルなどがあったものの、入場者は前年並みに推移いたしました。また、クラブハウスのレストランにて、遊園地のイベント「ほたるの宵」と連携した恒例のディナーイベントを開催し、好評を博しました。静岡よみうりカントリークラブは、新たに予約の少ない月末から月初にかけて、レディースウィークと題し、毎月自主コンペを開催いたしました。前年は荒天の影響によるキャンセルがありましたが、今年は天候に恵まれたことなどもあり、入場者は増加いたしました。千葉よみうりカントリークラブは、新たに実施した月初の優待施策が好評を得るなどした結果、6月の雨天によるキャンセルなどがあったものの、入場者は増加いたしました。

遊園地部門の遊園地では、華道家假屋崎吾氏が桜をテーマにプロデュースした恒例のイベント「SAKURAKUEN」が過去3年間で最高の入園者数を記録いたしました。また、ゴールデンウィークに開催した「全国ご当地大グルメ祭2014」は、過去最高だった前年に次ぐ売上を計上するなど、多くのお客様で賑わいました。6回目の開催となるほたる鑑賞イベント「ほたるの宵」では、菓子メーカーとタイアップし設置した「小梅ちゃん」灯ろうなどが会場の雰囲気盛り上げました。なお、日本で初めて客席部分が昇降する「空飛ぶ床」装置を採用した全天候型多目的ホール「日テレらんらんホール」では、トップアスリートによるミュージカルやサッカーワールドカップブラジル大会のパブリックビューイングなど多彩なイベントを開催し、好評を博しました。また、4月に新規オープンしたバーベキューパークJU-JUは、団体客を中心に、多くのお客様で賑わいをみせております。しかしながら、6月の雨天の影響などにより入園者は減少いたしました。3月に10周年を迎えた温浴施設「丘の湯」は、竹灯ろうの設置や大抽選会の開催など様々なイベントを開催した結果、入場者は増加いたしました。なお、丘の湯プラザの中華レストランにて「ほたるの宵」と連携した「天安ほたるディナー」を昨年に続き実施し、好評を博しました。温浴施設「季乃彩(ときのいろどり)」は、様々なイベントを実施したものの、リニューアル工事に伴い休館日が増加したことなどにより入場者は減少いたしました。なお、6月のリニューアル工事では、風呂水や飲料など館内で使う全ての水を、湯冷めしにくく、飲んでも美味しいとされるナノ水化するなど、他施設との差別化を図っております。ゴルフガーデン(練習場)は、パッティング大会やアプローチ大会を開催し好評を博しました。しかしながら、6月の雨天の影響などにより入場者は減少いたしました。親子向け屋内遊戯施設「キドキド」は、よみうりランド店独自の企画などを開催し好評を博しましたが、消費税率引上げの影響などにより入場者は減少いたしました。

以上の結果、総合レジャー事業の売上高は35億8千9百万円(前年同四半期比0.9%増)となりました。

また、不動産事業の売上高は、販売用宅地の分譲が減少したことなどにより、3億3千9百万円（同24.0%減）、サポートサービス事業の売上高は、連結内部からの受注が増加したことなどに伴い、8億7千8百万円（同51.2%増）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は40億7千7百万円（前年同四半期比2.1%減）、営業利益は、減価償却費が増加したことなどにより5億7千4百万円（同30.5%減）、経常利益は8億6千7百万円（同18.6%減）、四半期純利益は5億6千5百万円（同16.8%減）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、おおむね当初の計画通りに業績が推移するものと見込んでいるため、平成26年5月9日発表の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,747,696	2,223,356
受取手形及び売掛金	895,886	947,695
たな卸資産	163,921	157,714
繰延税金資産	110,208	93,811
その他	296,545	370,149
貸倒引当金	△899	△675
流動資産合計	4,213,359	3,792,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,465,964	17,769,214
土地	14,175,105	14,177,754
建設仮勘定	2,314,663	2,668,716
その他(純額)	1,855,428	1,829,869
有形固定資産合計	35,811,161	36,445,553
無形固定資産		
その他	95,840	94,847
無形固定資産合計	95,840	94,847
投資その他の資産		
投資有価証券	10,731,406	11,140,345
繰延税金資産	161,661	177,623
その他	468,631	449,555
投資その他の資産合計	11,361,699	11,767,524
固定資産合計	47,268,701	48,307,925
資産合計	51,482,060	52,099,977
負債の部		
流動負債		
営業未払金	789,206	332,261
短期借入金	1,470,000	2,220,000
1年内返済予定の長期借入金	433,000	228,300
未払法人税等	220,941	239,751
賞与引当金	123,563	32,049
その他	3,266,469	3,156,578
流動負債合計	6,303,180	6,208,940
固定負債		
繰延税金負債	1,923,374	2,069,659
退職給付に係る負債	558,033	546,154
長期預り金	23,395,418	23,532,917
その他	436,481	426,787
固定負債合計	26,313,307	26,575,518
負債合計	32,616,488	32,784,459

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,552	4,730,552
利益剰余金	6,795,379	7,165,958
自己株式	△1,918,378	△2,102,369
株主資本合計	15,660,583	15,847,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,204,988	3,468,345
その他の包括利益累計額合計	3,204,988	3,468,345
純資産合計	18,865,571	19,315,517
負債純資産合計	51,482,060	52,099,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,163,776	4,077,878
売上原価	2,930,910	3,061,890
売上総利益	1,232,865	1,015,988
販売費及び一般管理費	405,805	441,544
営業利益	827,060	574,443
営業外収益		
受取配当金	121,189	151,847
建設発生土受入金	113,452	130,885
その他	12,013	15,399
営業外収益合計	246,655	298,132
営業外費用		
支払利息	7,032	4,164
その他	1,270	936
営業外費用合計	8,302	5,100
経常利益	1,065,413	867,475
特別損失		
固定資産除却損	10,664	50,642
特別損失合計	10,664	50,642
税金等調整前四半期純利益	1,054,748	816,832
法人税、住民税及び事業税	203,369	250,642
法人税等調整額	172,184	1,138
法人税等合計	375,553	251,780
少数株主損益調整前四半期純利益	679,195	565,052
四半期純利益	679,195	565,052

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	679,195	565,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,411,731	263,357
その他の包括利益合計	1,411,731	263,357
四半期包括利益	2,090,926	828,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,090,926	828,409
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,554,467	446,241	163,067	4,163,776	—	4,163,776
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,650	555	417,968	421,174	△421,174	—
計	3,557,118	446,796	581,035	4,584,950	△421,174	4,163,776
セグメント利益	881,119	285,812	20,582	1,187,514	△360,454	827,060

(注) 1. セグメント利益の調整額△360,454千円には、セグメント間取引消去451千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△360,906千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,586,804	338,796	152,277	4,077,878	—	4,077,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,843	619	725,975	729,438	△729,438	—
計	3,589,647	339,415	878,253	4,807,316	△729,438	4,077,878
セグメント利益	712,037	213,322	79,970	1,005,329	△430,886	574,443

(注) 1. セグメント利益の調整額△430,886千円には、セグメント間取引消去△34,868千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△396,017千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。